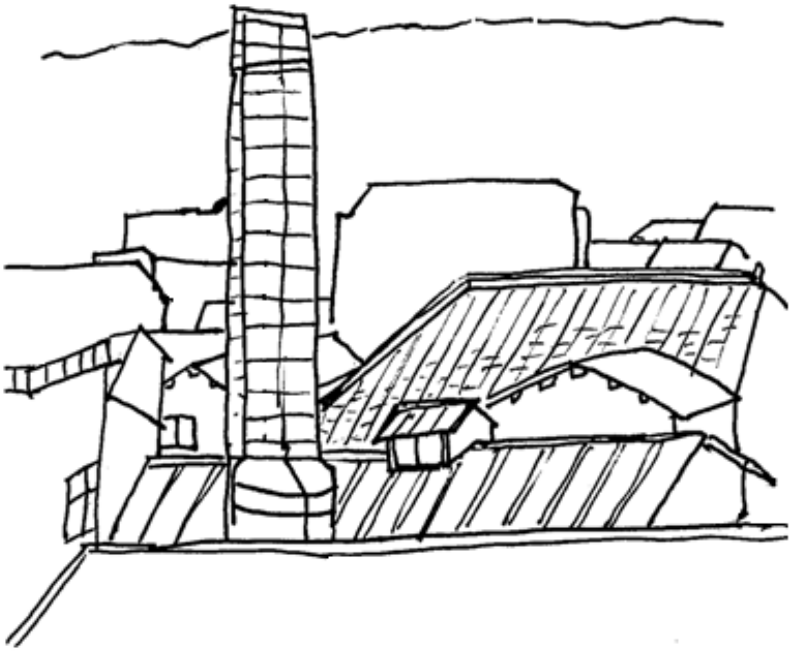
奈良から発信するまちづくり

町家くん通信

9 2019年 359号

奈良町の銭湯



暑さ厳しい毎日、暦の上では秋なのですが…。
そんな街のにぎわいの中に天に向かってのびる煙突がいくつもありました。
そんな、街のシンボルのように建っていた煙突が消えつつあり、それに合わせたように街の風景も変わっていくのは、さみしい思いがします。

画、文:うとうと SN

［特集］ 復興をめざす歴史的建造物のまちイタリア「ラクイラ」

発行:公益社団法人奈良まちづくりセンター

復興をめざす歴史的建造物のまちイタリア「ラクイラ」

理事　今瀬　政司

■はじめに ～様々な顔を持つまち「ラクイラ」～

ラクイラ（L'Aquila）は、イタリア中部にあり、首都ローマから東にバスで1時間半～2時間ほど離れたところにある。アブルッツォ州の州都で、ラクイラ県の県都でもあり、人口が約7万人の都市である。標高の高いところにあり、まちからはグラン・サッソ・エ・モンティ・デッラ・ラガ国立公園の雄大な山々が眺められる。

ラクイラのまちは、その地域性から様々に表現される。古代に生まれたこのまちは13世紀にフェデリコ2世によって創建され、ラクイラの地名は鷲の意味を持つ。中心市街地等に中世からの歴史的建造物や文化財が非常に多く残っていることなどから、「歴史と芸術のまち」と呼ばれる。99噴射口の泉（99の村が集まってまちができたとされる）、スペイン城砦（内部はアブルッツォ国立博物館）、城門、サンタ・マリア・ディ・コッレマッジョ聖堂、サン・ベルナルディーノ聖堂、ドゥオーモ広場など多数の観光資源がある。そうした歴史的建造物やグランサッソ国立公園の山々を訪れる観光の拠点になっていることから、「観光のまち」とも呼ばれる。また、世界的に有名なグラン・サッソ国立研究所やラクイラ大学など学術・研究機関があることから「学問のまち」としても知られる。そして、イタリアの中でも地震の多い地域で過去に大地震が繰り返し発生していることから、「地震のまち」としても知られている。10年程前の2009年には、「ラクイラ地震」(terremoto dell'Aquila)が発生してまちが壊滅的な被害を受けた。

筆者は、2019年6月、ラクイラのまちを訪問して、ラクイラ地震による被災と復興状況を調査した。

■ラクイラ地震によるまちの壊滅的被害

2009年1月から4月にかけて、ラクイラ付近で群発地震が起こっていた。群発地震が長く続いた4月6日の午前3時32分（日本時間同10時32分）にマグニチュード5.8（イタリア政府発表、リヒタースケール）、震源の深さは約10キロの大地震が発生した。

このラクイラ地震によって、300人以上の人が命を失った。負傷者は1,500人以上に上った。15,000以上の建造物が損壊した。住民の65,000人以上が家を失い、避難生活を強いられた。約88,000人が仕事を失い、28,000人以上の学生が学業を終えることができずにまちを離れた。損壊した建造物は、住宅、病院、県庁舎等の公共施設、学生寮・教育施設、ホテルなどとともに、古い教会・聖堂や住宅など多数の歴史的建造物や文化財が損壊した。中心市街地に密集して残る中世の歴史的建造物の多くも損壊した。

イタリア政府は、同年7月8-10日、主要国首脳会議G8サミットをホスト国としてラクイラで開催した。国際的な被災地支援を期待して、開催地を地中海の保養地ラ・マッダレーナから急遽変更したとされる。

■地震裁判で裁かれた地震学者と行政

ラクイラ地震は、国の災害委員会の地震学者や行政関係者らメンバーが過失致死罪で地方裁判所に起訴されたことで、日本でもニュースが報じられた。地震の危険度を判断する国の災害委員会が大地震発生前に、「大地震の兆候はない」とする安全宣言を記者会見で発表した。そのことが被害拡大につながったとして訴えられた。地方裁判所は、地震学者らがメディア・世論操作を図ろうとした政府に癒着して従ったものと判断して、メンバー全員に禁固刑の有罪判決を出した（控訴後は判決が変わった）。

ラクイラでは、4月6日の大地震が発生した当時、群発地震が頻発して地元住民に不安が広がっていた。そこで、国の災害委員会の地震学者らは、研究に基づく予知ではなく、パニックや風評被害等の混乱を収める必要があるとして、行政に協力して安全宣言を出したとされた。実際、その安全宣言によって、その前まで避難していた人々がまちに戻って来てしまい犠牲になった。

ラクイラ地震で被災した修復中の歴史的建造物（撮影：今瀬政司）

■復興工事が続く被災10年目のラクイラ

ラクイラのまちは、2019年6月現在、地震発生から10年も経っているにも関わらず、未だに復興途上にある。建物の修復・再建等が進んで住民が戻ってきている地区がある一方で、まちの中には、発災直後かと思われるほどに復旧・復興が遅れている地区もある。

震災前に多くの地元住民や観光客でにぎわっていたドゥオーモ広場のある中心市街地では、営業を再開している店舗等は、まだほんのわずかな状態である。中心市街地で損壊した歴史的建造物の多くはまだ修復工事中の状況にある。建物の多くが、補強用の鉄柱やシートで覆われており、まちのあちこちで作業用クレーンが林立している。工事の車両や作業員が行き交い、ドリル等の騒音が響いている。無人の状態にある建物がまだ多くあり、立入禁止の場所も残っている。住宅の修復・再建では、一部は完了しているものの、まち全体ではまだ何年もかかると見られており、仮設住宅での暮らしを続けている住民はまだ多い。

■歴史的建造物の保存と時間を要する復興

歴史的建造物はそのまま元の姿に戻さなければならないとされており、修復や再建には果てしなく時間がかかっている。石造りの歴史的建造物が立ち並ぶ中心市街地は、安易に取り壊すこともできず、かといって修復もままならず、時間が過ぎていった。

歴史的建造物の修復等に関する法律や行政手続きが複雑なことも復興の遅れの原因になっているとされる。歴史的建造物の修復・再建・取り壊しには国の許可が必要となり、申請や審査の手続きだけで長い時間が費やされてきている。中心市街地に多く残る歴史的建造物の修復等では、本格的に工事に着手するのに何年もかかっている。

ただ、復興が遅れている理由は、多く残る歴史的建造物の修復等の難しさだけではないと言われている。国や自治体等の行政機関の怠慢を指摘する声もある。復興工事等に絡んで市幹部の汚職・賄賂が発覚し、そうした事件対応で時間が無駄に過ぎてしまい、さらに大幅に遅れることになったとされる。こうした復興を遅らせる様々な要因が重なって、復興には20年かかるであろうとも言われるようになっている。

■展望 ～復興でまちとして大切なものは何か～

このように、ラクイラのまちは、震災からの復興が遅れており、市街地等では至る所で修復工事が続き、営業している店舗等はごくわずかな状況にある。

しかし、それにも関わらず、まちは落ち着いており、凛とした品格を感じさせるような雰囲気を持っている。まちを訪れる外来者に対しても、住民の誰もが温和で優しく迎えてくれているという印象を与えている。

ラクイラの人たちは、まちへの愛着がとても強く、家族や友人たちとの時間を非常に大切にしていると言われる。震災前と同じように、週末には、多くの人々が広場に集い、イベント等で楽しく賑わう姿が見られる。夕方、夜になると、ほとんど何もない通りは、家族連れや若者たちであふれている。通りに面した建物の多くが修復工事中でシートで覆われているが、その中にポツン、ポツンと営業している店舗が明るく電気を灯している。洋服を展示しているショーウインドーの前では、腕を組んだ夫婦が会話をしながら見とれている姿なども見られる。夜遅くなっても、ベビーカーに子どもを乗せて楽しそうに歩く家族連れがたくさんいる。

震災からの復興が遅れながらも、多くの歴史的建造物を保存し続け、家族や友人たちとのつながりや楽しい時間を大事にし続け、外来者を優しく迎え続けるラクイラのまちは、「復興においてまちとして大切なものは何か」を教えてくれている。イタリアと同じように地震の多い日本の我々は、震災からの復旧・復興のあり方について、ラクイラの人々に学ぶところは多い。ラクイラのまち全体が着実な復興を果たして、完全な賑わいを取り戻し、さらに発展していくことを願っている。

（　＜参考・引用文献＞

Noi L'Aquila – Beauty of Italy.(2018.12.15), "Recalling The Past: Memories After L' Aquila Earthquake"（2019.8.17閲覧）
https://www.noilaquila.com/memories-after-laquila-earthquake/
今瀬政司研究室ホームページ
http://sicnpo.jp/imase-aichi_toho/　（2019.8.17閲覧）

被災した建物修復中の市街地で夜の散歩を楽しむ
ラクイラの人たち（撮影：今瀬政司）

第6回

まちなみビジネスの可能性

地域のビジネスと寺社の巻き込み

奈良まちづくりセンター理事　大和まちなみ文化塾塾長　阪本日出雄

大和まちなみ文化塾とは奈良町や今井町の古民家を活用して伝統文化の教室を運営するビジネスです。

◆日本酒教室のビジネスモデル変遷

大和まちなみ文化塾では利益確保を目指してその開催モデルを変化させてきました。その変遷を以下の表にまとめています。

表1　日本酒教室のコスト負担表

No	ビジネスモデル	主催者	まちなみ文化塾の費用負担				
			広報費	会場費	講師費	酒　代	食事費
1	すべて負担タイプ	まちなみ文化塾	○	○	○	○	○
2	酒造会社ファン造りタイプ	酒造会社か文化塾	○	○	×	×	○
3	奈良県産業観光振興タイプ	まほろば館	×	×	×	×	○
4	同上	猿沢イン	○	×	内部	○	○
5	酒造会社飲食店提携タイプ	三者どこでも	○	×	×	×	×
6	理想のビジネスモデル	まちなみ文化塾	×	×	×	×	×

凡例：○は まちなみ文化塾が負担する。×は負担しない。「内部」とはまちなみ文化塾が講師をつとめる

上記の6つのタイプの内、「1」はすべてを まちなみ文化塾が負担するモデル。自らチラシやネットで広告をして、会場費を支払い、酒造会社の杜氏に謝礼を渡し、教材の酒代を出し、軽食のコストを負担します。これだと全く利益が出ません。

逆に「5」は まちなみ文化塾が色々とコスト負担を逃れるタイプ。広報・集客は まちなみ文化塾が実施するとして、会場は飲食店の空きタイムを使って無料にしてもらい、酒造会社の杜氏は自社宣伝活動として無報酬で講師を務めるとともに教材の酒を提供し、食事は会場となる飲食店が一般の営業行為として提供します。「6」は見つけたい理想モデルです。

◆三者それぞれの利益が鼎立する日本酒教室

はたしてそんなことが可能なのか？これには まちなみ地区の飲食店の昼食と夕食の間の時間を活用します。時間割で解説しますと、

～14:30 飲食店のランチタイム

14:30～15:00 会場設営と受付

15:00～16:30 日本酒教室の授業

16:30～　　資機材撤収、参加者が食事開始

17:00～　　飲食店が夕食営業開始

関係三者のメリットを考えみると

1)酒造会社は自社と商品をアピールできます

2)飲食店はすき間の時間に営業できます

3)まちなみ文化塾は授業料をいただけます

◆とても難しいお茶会の収益化

お茶会はあちこちで開催されていますが、利益の出るものではありません。持ち出しになってもお茶会をやりたいのが茶人の心意気でしょう。あるいは茶道教室の発表会としてのお茶会なら師匠やお弟子さんたちが一生懸命茶券を売ります。抹茶一服にお菓子なら300円からせいぜい1000円です。

この状況で、ビジネスとして茶会開催が可能なのでしょうか？一つのやり方は、地域の寺社に主催者になってもらうことです。奈良町でいえば元興寺や興福寺が主要行事に合わせて茶会を開きます。大和まちなみ文化塾は茶会の実施を受託して報酬を受け取ります。コストで生じる場所代、抹茶代、お菓子代は主催者の寺社が負担します。

もちろん大和まちなみ文化塾にはお茶の社中としてのネームバリューが無いので、その分は寺社の行事を解説する「物語茶会」で付加価値を付けます。

図1：ストーリーを解説する新宿御苑の物語茶会

「市民参画・協働促進プロジェクト」はどう進めるべきか？

理事　神野　武美

「縮減社会」の地域自治のあり方を問う

奈良まちづくりセンター（NMC）の初代理事長木原勝彬さんが「人口が減少する『縮減社会』では市民は負担やリスクを覚悟しなければならないので、市民が行政や議会の活動に積極的に参画する必要がある」との認識から、「市民参画・協働促進プロジェクト」を立ち上げました。その趣旨は、特定非営利活動促進法（NPO法）施行から20年を経たが、市民活動の先駆性や連携・協働力が弱まっている。その使命を再認識し活動を強化する必要がある、というもので、今後、奈良市をフィールドに「市民学習」のあり方を検証し推進するとしています。

その会合が7月27日にあり、奈良市の地域づくり推進課が「市民参画及び協働によるまちづくり条例」の内容を説明し討論が行われました。しかし、論議は「制度論」が中心で、空き家や空き地、遊休農地の増加など地域の「スポンジ化」、高齢化、貧困家庭など、身の回りの具体的な問題についての論議はあまりありませんでした。

「地方自治は民主主義の学校」といわれますが、米国の弁護士ラルフ・ネーダーの有名な言葉に「情報は民主主義の通貨」というのがあります。しかし、「悪貨は良貨を駆逐する」（グレシャムの法則）こともあります。

奈良市市民参画条例のパンフレット

むしろ「情報は民主主義の血液」と言うべきかもしれません。

近年、ネットやマスコミが流す二次情報に市民の意識が支配され、自ら体験したり見聞したりして物事を考える習慣を失っているように思えるからです。ウソの情報が広まったり、必要な情報が公開されなかったりすれば、民主主義は死んでしまうのです。

奈良市は2011年、市議から職員への「要望（口利き）」を報告する条例を制定しました。ところが、初年度161件あったのが、15年度の報告はたった4件でした。市議の「要望」は地域からの貴重な情報です。しっかり記録して市民活動の参考として役立ててもらえば、市民参画の促進になるはずです。

8月10日、大津市で開かれた「第25回自治体法務合同研究会」には、全国から大勢の自治体職員が集まりました。高齢者人口がピークを迎える2040年を念頭に地方自治のあり方を構想する総務省の「自治体戦略2040構想研究会」の報告を踏まえた論議が行われ、基調講演をした阿部昌樹・大阪市大教授（法社会学）は「住民の自治体に対する期待を引き下げることが自治体行政への満足度を高める」という問題提起を「魚釣り」に例えて行いました。

「漁船貸すから住民が釣りと調理を担って」

それは、自治体サービスは従来、漁船を出して魚を釣り調理して住民に提供してきたが、今後は、漁船と釣り竿を貸すから住民が魚釣りや調理をするほうが、住民にとっても楽しいはずというもの。「なるほど」と思う半面、「漁船の燃料代補助くらいでお茶を濁され、あとは住民の自己責任にされるのがオチでは」と疑いたくもなりました。それは、自治体が情報を隠すことが多かったからです。

研究会では、「中山間地域の集落の住民に情報を全部提供して今後の地域のあり方を決めてもらう」という提案をしたが、批判されて引っ込めざるを得なかったという経験談も披露されました。情報を公開することは、住民による主体的な選択を可能にすることだと思いました。

9月のつぶやき

Mac

お盆は家族で香港にある世界的に有名な遊園地へ。そこは2時間待ちなんてなく、乗り物はすべて5-10分しか待たず、日本からの観光客も思いのほかたくさん来ていました。政治不安の面が大々的に報道されてるのとはうらはらにとても楽しい香港でした。早く暴力のない平和な香港に戻ってほしいと切に願います。加油香港。

Yam

夏休みと言えば、お出かけ！次男は、日本縦断（宮崎―青森―宮城）自転車の旅に40日くらい出かけています。私は、お盆はひたすら夜勤に励んでました。そして、県庁や市役所の大量の郵便物にお盆でも役所は休みじゃないよなって実感。今年から、奈良市内の小学校は夏休みを短縮、8月26日から2学期がスタートです。

Tak

この夏、岩手の盛岡に行ってきましたが暑かったです…朝だけはやや涼しかったものの日中は避暑なんて無関係の35℃。奈良に居るのと大差なく、がっかりしました。そして、とうとう地元の小学校でも夏休みを延長することになったようです。今までは夏休みが短く、冬休みは長かったらしいのですが…。

町家くん日記　～日々是好日～

理事長　二十軒　起夫

この夏は大変な猛暑でした。あまりの暑さに外出もままならず、ぐったりしている毎日でした。さすがに8月23日の「処暑」の頃には朝晩少しだけですが秋の気配を感じました。また、9月8日は「白露」です。草花に朝露が付き始め、本格的な秋の訪れとなります。

8月は物語館も夏休みをいただきました。8月3日には恒例の「奈良町サマーセミナー」があり、子供たちが井戸や町家を楽しんでいました。8月中旬は中新屋町内の行事がいろいろ行われ、「ゆかた茶会」「灯りの小径（燈花会協賛）」「ならまち遊歩」「カクテルバー」などと夕方の奈良町は賑やかでした。

この暑さの中、海外からのお客様は相変わらずたくさん来られます。家族連れ、若い人たちのグループが目に付きます。奈良町に増え続ける観光客とお店。生活空間とうまく調和した経済循環になれば望ましいのですが・・・。

ゆかたの会

ならまち遊歩　提灯

小学生奈良町サマーセミナー

副理事長　岩本　廣美

2019年8月3日（土）、小学生対象の奈良町サマーセミナーを今年も実施しました。内容は例年同様、午前の部が「奈良町井戸探検」（岩本副理事長担当）、午後の部が「物語館で『マイ動物ランド』を作ろう」（山本理事担当）です。参加者は午前が親子計3名、午後は親子計2名と少なかったのですが、それぞれ満足していただいたようです。以下では、午前の部の内容を中心に、当日の状況を報告します。

「奈良町井戸探検」では、ここ数年、毎年3箇所で井戸探検をしています。奈良町物語館の井戸、元興寺町方面のS商店の井戸、脇戸町のN菓子店前の路地奥の井戸（写真）、の3箇所です。これら3箇所はそれぞれに井戸の様子が異なります。

物語館の井戸は、釣瓶を引き上げるときれいな水を汲み上げることができますが、現在はほとんど使われることなく、普段は格子状の木組みで蓋をしています。S商店の井戸も、釣瓶できれいな水を汲み上げることができますが、物語館と異なり、毎日井戸水を使っているとのことで、蓋はされていません。路地奥の井戸は、手押しポンプ井戸で、水面を見ることはできませんが、訪ねた人は自由に水を汲み上げることができます。それぞれで参加者が当日汲み上げた井戸水の水温は、物語館が16度、S商店が17度、路地奥が20度でした。この日は、日中の最高気温が36.3度になりましたので、いずれもかなり冷たく感じられました。ちなみに、これらの井戸水を生で飲用することは認められていません。テイスティングでは、物語館の井戸水を煮沸し冷やして使いました。

今年は、地面から水面までの深さを測る道具を事前に作成し、物語館とS商店の2箇所で深さを測りました。その結果、物語館が7.9m、S商店が8.4mであることがわかりました。両者は、水温が多少異なるばかりでなく、深さも異なります。地下水脈の様子はどうなっているのだろうか、との疑問はふくらむばかりです。

もっと知りたい！教えて！ 町家くん百科 Vol 18

回答者 :倉本　宏

町家の「うだつ」ってどう言うものなの？

妻壁を持ち上げたり軒先まで出したりしたものやが、これがないと「うだつが上がらん」 と言われて、見栄えが悪かったんや

町家の「うだつ」とは卯建・宇立などと書き、 隣家との間の妻壁を持ち上げた本うだつと、妻壁を軒先まで伸ばした袖うだつが代表的な形式です。洛中洛外図屏風には板葺き石のせ屋根の長屋の戸境壁が屋根より上に突き出ている様子が描かれており、15世紀後半には意匠として採用されていたことがわかります。その後、木造骨組みに土を塗り、漆喰で仕上げた構造で、延焼を防ぐ防火壁として一定の役割を期待されるようになりました。奈良や京都の町家のほとんどは袖うだつのタイプで、大屋根と一階の屋根（下屋）との間に設けられ、下部は下屋との間にスリットを空けて、まさに和服の袖のような形で優雅な風情を醸しています。また、奈良盆地を中心に分布する大和棟と呼ばれる形式の民家は「高塀造り」とも呼ばれ、急勾配の草葺き屋根の両ケラバ（妻壁の上部）に2～3列の瓦葺き部分を持ちますが、この部分も「うだつ」と呼ばれています。

質問大募集　・・・・皆さんから、奈良町や奈良まちづくりセンターにかかわる様々な質問にお答えします。応募は事務局まで！

奈良町物語館ガイド

9月

1	日	鉛筆による仏画、オリジナル画展
2	月	新奈良町の辻子（手作り作品展示販売）
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	千福（和装小物展示販売）
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	里山からの風便り（手作り作品　展示販売）
14	土	
15	日	
16	月	新奈良町の辻子（手作り作品展示販売）
17	火	
18	水	ワーキングセンターいづみ『草木染　販売会』
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	『木ごころ 木工家具展』（木の手作り家具、食器、文具、額など展示販売）
28	土	
29	日	
30	月	

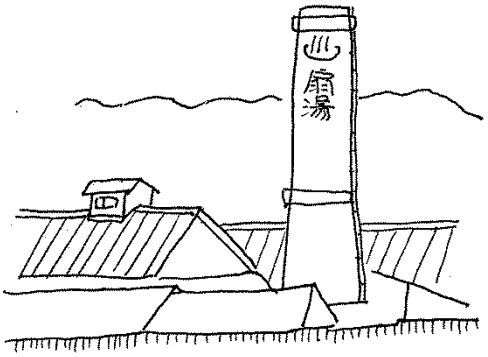
10月

1	火	『木ごころ 木工家具展』
2	水	
3	木	『康工房作陶展』（陶芸教室　作品発表）
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	新奈良町の辻子（手作り作品展示販売）
8	火	
9	水	
10	木	千福（和装小物展示販売）
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	里山からの風便り（手作り作品　展示販売）
17	木	
18	金	
19	土	かまど体験
20	日	わらべうたフェスタ
21	月	貸切り（視察）
22	火	『手わざ匠市』（手作り作品　展示販売）
23	水	
24	木	
25	金	『手作り作家物語展』（手作り作品　展示販売）
26	土	
27	日	
28	月	ワーキングセンターいづみ『草木染　販売会』
29	火	
30	水	
31	木	

ＮＭＣの活動スケジュール

（8月事業実施）
8/3　奈良町サマーセミナー（物語館）
8/4　理事会
8/6　「はならぁと」実行委員会
8/21　「てひとのて」打合せ

（9月予定事業）
9/14 研修交流（物語館）
（ベトナム・ドンラム村、女性リーダー）
9/17 「大奈良町夢トーク合同サロン」
（きたまち、京終、ならまち）



物語館　空き情報
9/4，5（水、木）
9/12（木）
12/18(水)
12/23(月)以降
＊年末までご相談に応じます

編集後記
奈良国立博物館の特別陳列「法徳寺の仏像」(9月8日まで)を見ました。近年の寄進だそうですが、興福寺や南都ゆかりの像が多く、すぐにでも重要文化財になりそうなものがあります。奈良町のお堂や会所で祀られている仏像、絵画を集めたら面白い展示になると思いました。(S)

町家くん通信
2019年9月1日発行・第359号

※ＮＭＣのＨＰにてカラー版を掲載
http://www4.kcn.ne.jp/~nmc/

発行　公益社団法人奈良まちづくりセンター
〒630-8333　奈良市中新屋町２－１奈良町物語館内
TEL/0742-26-3476　FAX/0742-27-0969　E-mail/nmc@m4.kcn.ne.jp
発行人　二十軒　起夫
編集　藤野正文（チーフ）・清水和彦・勝野一・武山佳恵・D/加納なみか